

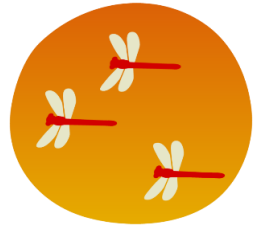
## なんだか元気がない・・・もしかして●●●？

平素は格別のご贔屓にあずかり、誠にありがとうございます。

秋になると夏の猛暑も和らぎ、ついっか、部屋に飲みかけの飲料水や料理がそのまま…なんてことはありませんか？

普段なら十分な免疫力があるので大した事ないのですが、夏バテした身体では免疫力も落ちているため、食中毒になりやすいので、適切な管理と、ついっかした時は「勿体ない」と言わず捨てて、身体を守ることが大切です。

今回は、『在宅でありがちな症状から早期発見・早期対応』をご紹介します。



ホームページも開設しております。

『ネットワーク訪問ナースステーション』で検索すると、一番上に出てきますので、

是非覗きにきてくださると嬉しいです👁️

今後ともよろしく願い申し上げます。

C様。70歳代男性。高血圧、腰椎圧迫骨折、腰痛症、認知症軽度。独居。キーパーソン、多忙な長男。

ケアマネージャーから「C様に介入しているヘルパーから連絡があり、『普段と比べて元気がないんです。トイレ掃除をしたときに下痢をしていた感じがあったので本人に尋ねたところ、本人は大丈夫とお話されていました。』と報告があった。元気がないのは脱水症だからですか？」と医療相談の連絡を頂いた。状態確認の為、OS-1を持ってC様宅に訪問したところ、バイタルは変わらないが食欲なく、腸蠕動音亢進しており、胃もたれしているとのこと。皮膚乾燥傾向。

お食事は摂れているのか尋ねると、「ヘルパーさんが2日前に作ってくれたものを食べてるよ。勿体ないから、古いやつから食べてる。」「腰が痛くて冷蔵庫まで取りに行くのは辛いから机の上に置いてもらっている。」とのこと。ヘルパーに確認をすると、「処分しようとする本人が勿体ないと言って捨てられない。」とお話あり。

訪問診療の主治医に連絡を取り情報共有したところ、「高齢者では症状が現れない場合が多い。現在嘔吐や発熱はみられていないが、早急に対応した方が良いでしょう。」とのことで緊急対応となり点滴実施。主治医の診断では、軽度の食中毒による脱水症とのことだった。

C様は、2,3日在宅で点滴加療を行ったがすぐに軽快され、入院せずに在宅療養できるようになりました。

ヘルパーさんの気づきから始まり多職種連携で早期発見早期対応が出来た事例です。C様は今回のことを機に冷蔵庫で管理し、勿体ないと言わず処分する事が出来るようになりましたが、今後の課題は冷蔵庫まで何らかの理由で行けない人が、自分のペースで食事をする為、どの様にして食物の管理をしていくかです。(安田)

神経難病、認知症、精神疾患、がんターミナル、骨折後リハビリ等を特に得意としております。

医療のご相談や訪問看護お試しサービスを無料でっております。

お気軽にお問い合わせください！



Facebook  
開設いたしました！



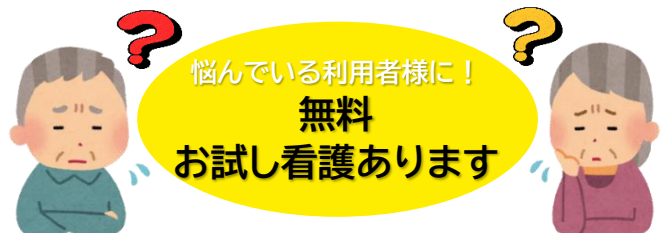
**訪問地域** その他の地域もぜひご相談ください！

**世田谷区**

松原・代田・代沢・豪徳寺・梅ヶ丘・宮坂・経堂・赤堤

**杉並区**

永福・和泉・浜田山・下高井戸



京王井の頭線高井戸駅 徒歩2分

ネットワーク訪問ナースステーション

TEL: 03-6379-0683

FAX: 03-6379-0684

24時間  
対応